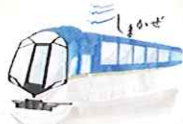


第9回全国精神保健福祉家族大会

希望が三重～る

～ピアのちから・アウトリーチ・伊勢エビ 実はそれぜんぶ三重なんです～

みんなねっと三重大会



日時 **2016年10月27(木)、28(金)**

会場 **三重県総合文化センター**

三重県津市一身田上津部田 1234 番地 ☎059-233-1111

三重県総合文化センターへの交通アクセス

<http://www.center-mie.or.jp/access/>

参加費 **3,000 円** 障がいのある人 500 円
学生 1,000 円

三重大会事務局 〒514-8567 三重県津市桜橋 3-446-34 三重県こころの健康センター内
「さんかれん」 TEL 059-227-1929 FAX 059-271-5808



主催／公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)
特定非営利活動法人 三重県精神保健福祉会

~~~~ご挨拶~~~~

公益社団法人 全国精神保健福祉会
理事長 本條 義和



「みんなねっと三重大会」開催に寄せて

第9回全国精神保健福祉家族大会を、本年5月に伊勢志摩サミットが行われた三重県の地で開催するにあたり主催者の一人として一言ご挨拶を申し上げます。昨年障害者総合支援法の施行3年の見直しが行われました。見直しを審議する社保審障害者部会は月刊みんなねっと誌上でご報告しておりますように、19回にわたり開催されましたが目立った変化はなく、期待外れの感がありました。しかし、今までほとんど顧みられなかった「家族支援」「アウトリーチ」「障害の定義」「インフォームドコンセント」「住宅債務保証人制度」などが、議論されたことは、成果といえるのではないのでしょうか。本年には、精神保健福祉法施行3年の見直しがありますので引き続き意見提言をしていきたいと思っております。また、みんなねっとでは一昨年、JR等運賃割引格差是正の国会請願署名運動を展開してきましたが、今後も各種審議会・委員会で提言要望を行うとともに、社会に向かって目に見える形での要望活動を継続実施していきたいと思っております。

設立以来、取り組んできた訪問による本人を含めた家族全体を支援する「行動療法的家族療法」の日本普及については、みんなねっと単体ではできない大事業ですので他団体との更なる連携を深め、持続可能な体制づくりを目指していきたいと思っております。

さて、今回の全国大会において特筆すべきことは本人の参加と参画です。家族だけですべて行うのではなく、医療・福祉従事者は無論のこと本人及び地域社会まで、幅広いネットワークを構築していくことが大切です。みんなねっととしても先に述べました家族支援を含め今後の検討課題としていきたいと思っております。末尾となりましたが、昨年ご尽力いただきました山本理事長はじめ実行委員会に感謝と敬意を申し上げますとともに、ご参加の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

特定非営利活動法人 三重県精神保健福祉会
理事長 山本 武之



みんなねっと全国大会（三重）にご参加ください！

県内の家族（14家族会）は、「三重で全国大会！」大変なことになった!! 300余りの会員の力で大丈夫よろか? 愚痴を言うてもなんもならんからとか、家族会がモヤモヤしていた一昨年、「実行委員会を作ってやればできる」と東京から指示をいただき、やっと前向きに考えるようになりました。そののち、大会までに三重県内の「運動を少しでも前進させて、全国の皆さんをお迎えしよう」という機運が出てきました。そしてほんの少しですが「鉄道運賃割引請願署名」「医療費助成」の両方で前進することができました。

大会の内容は、全体研修として日本の精神科医療・福祉の大きなテーマであります「誰でもわかる認知行動療法」「精神科アウトリーチ」の専門家を基調講演、記念講演講師としてお迎えすることにいたしました。また大会全体を通して1つは当事者（ピア）の力をアピール、2つ目は分科会を「活性化」する手だてを考えることにしました。

大会2日目の午後「ピア・サミット」が開かれます。これは三重県が主催しますが、「みんなねっと大会」に連携したいとの申し入れがあり、協力することにしました。

今、三重県内では「精神科アウトリーチ」を2つの医療機関で実施しており、対象地域の人口は50万人を超えています。しかしながら、国・自治体からの財政援助が乏しく、とても万全とはいえません。お話したいことはいろいろありますが、全国の皆さんに三重の地で交流していただくことを楽しみにしております。

皆さんが、一字・一音の街（津）に来てくださるのを、心よりお待ちしております。

大会 メインテーマ

希望が三重～る

～ピアのちから、アウトリーチ、伊勢エビ 実はそれぜんぶ三重なんです～

現在の社会は、少子高齢化、貧困化、情報化などが急激に進み、時代がかつてないスピードで大きく変化しています。このような時代の中で家族の願いは今も昔も変わることなく「精神障がい者が社会の中で自分らしく暮らし、家族が安心して生活できる社会の創生」です。

誰もが住み慣れた地域で生活していくことを目指している社会であるはずが、本人と家族の関係は、古の呉秀三の私宅監置に関する報告の中に本人と家族の困難が克明に記載されています。21世紀の世の中においてもこの問題の根本解決がないままに今日に至っています。

私たちを取り巻く状況は簡単なものではありませんが、一方で雄弁に自分自身を語る当事者たちの活躍が毎日のように聞こえてきます。そんな今だからこそ家族会活動の意義をみんなで考え、ピアのちから、アウトリーチ、これらを三重から発信したいとの思いで、本大会のテーマを「希望が三重～る ～ピアのちから、アウトリーチ、伊勢エビ 実はそれぜんぶ三重なんです～」としました。

三重県は伊勢志摩サミットの開催で世界から注目されました。この三重の地で国際社会が直面している課題について活発な議論や意見交換がなされました。国際社会が直面している課題の根本にあるものは、こころの問題ではないでしょうか。私たちは、伊勢志摩サミットの勢いに負けずに熱い想いを全国の仲間と語り尽したいと思っています。

三重県は伊勢エビや安乗ふぐ、鮑など魚介類の宝庫であり、豊かな自然や鈴鹿サーキットなど日本有数のアミューズメントスポットが存在し見どころも満載です。

また、伊勢神宮は日本人のこころのふるさとと言われていています。こころのふるさと三重県でみなさんと出会い、本音で語り合い、時に笑いあい、時に涙することで、三重県から全国へ希望を届けていきましょう。

日時

2016年10月27(木)、28(金)

会場

三重県総合文化センター

三重県津市一身田上津部田 1234 番地 ☎059-233-1111

三重県総合文化センターへの交通アクセス

<http://www.center-mie.or.jp/access/>

主催

公益社団法人 全国精神保健福祉会(みんなねっと)

特定非営利活動法人 三重県精神保健福祉会

〜スケジュール〜

2016 みんなねっと三重大会

1日目 10月27日(木)

10:00~ 受付 ※当日は、事業所の授産製品の即売会も予定。

11:15~ オープニングセレモニー

12:00~ 開会式

13:00~ 基調講演

「誰でもわかる認知行動療法」

一般社団法人認知行動療法研修開発センター理事長
／ 大野 裕氏

14:20~ みんなねっと活動報告

みんなねっと理事長 / 本條 義和
行政報告
厚生労働省より(予定)

15:40~ 記念講演

「精神科アウトリーチ」

～入院に依らない精神医療の実現のために～
千葉大学医学研究院特任教授 / 渡邊 博幸氏

17:00 終了 ※懇親会参加者はバスで移動

18:30~ 懇親会
津センターパレス(都ホテル)

2日目 10月28日(金)

9:00~ 受付

9:30 第①「広げようアウトリーチ」
～地域でくらす本人、家族によりそって～
11:30 ☆コーディネーター 鈴鹿医療科学大学教授 貴島 日出見

第②「元気な家族会に!!!」

☆コーディネーター 日本福祉大学教授 青木 聖久

分 科 会

第③「安心してくらす社会を 目指して」

～差別解消法 これからを対話しよう～
☆コーディネーター 三重大学教授 片岡 三佳

第④「はじめよう! 若者への 啓発を」

☆コーディネーター 聖隷川羽大学准教授 大場 義貴

第⑤「ピアカフェ」

～みんなでしゃべろう～

☆ゲスト 松本ハウスさん

※定員 100名: 当事者限定
(不安な方は家族同伴可)

11:45~ 閉会式
分科会報告 大会アピール採択 次期開催県あいさつ

12:40 閉会(予定)

『ピアサミット』 10/28(金)13:30~15:30 三重県総合文化センター 中ホール

お笑い芸人 松本ハウスさん 来たる! (主催:ピアサポートみえ(入場無料))

全体会 10月27日(木)12:00~

基調講演

一般社団法人認知行動療法研修開発センター

理事長 大野 裕 氏



「誰でもわかる認知行動療法」

今回の講演では、認知行動療法についてわかりやすくお伝えしたいと考えています。認知行動療法は、私たち誰もが日常生活のなかで意識しないでやっているストレス対処法のエッセンスをまとめて治療に活かしたものです。そのエッセンスがわかれば、毎日の生活のなかで体験するストレスに上手に対処できるようになるだけでなく、本来持っている心の力をうまく生かして自分らしく生きていくことができるようになります。私の話が、多くの皆さんのお役に立つことを願っています。

大野 裕氏の主なプロフィール

1950年、愛媛県生まれ。

1978年、慶應義塾大学医学部卒業と同時に、同大学の精神神経学教室に入室。その後、コーネル大学医学部、ペンシルバニア大学医学部への留学を経て、慶應義塾大学教授（保健管理センター）を務めた後、2011年6月より、独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター センター長に就任、2015年4月顧問となる。

近年、精神医療の現場で注目されている認知療法の本国における第一人者で、国際的な学術団体 Academy of Cognitive Therapy の公認スーパーバイザーであり、日本認知療法学会理事長、（一社）認知行動療法研修開発センター理事長、日本ストレス学会理事長、日本ポジティブサイコロジイ医学会理事長、日本うつ病学会の理事など、諸学会の要職を務める。

記念講演

千葉大学社会精神保健教育研究センター

学会会木村病院 渡邊 博幸 氏



「精神科アウトリーチ」

このたびは、第9回みんなねっと全国大会（三重大会）にお招きいただき、ありがとうございます。入院中心の我が国の精神医療は、大きな変革期に入りました。長期入院の方々を色々な工夫をして地域で支える取り組みは、比較的システム化しやすい印象があります。その一つのモデルをご紹介したいと思います。しかし、今まで医療が関わっておらず、あるいは途中で中断してしまった方の急激な再発を、入院に頼らないで支えるのは大変むずかしく、精神科臨床現場では、色々な矛盾に直面します。それでもなお、入院に頼らない精神医療を実現するためには、現状でどのような課題があり、どのような工夫が必要なのかを皆さんと一緒に考えたいと思います。

渡邊 博幸氏の主なプロフィール

1992年 3月 千葉大学医学部卒業
同年 5月 千葉大学医学部附属病院 精神神経科研修医
1993年 4月 松戸市立病院 神経内科研修医
1993年10月 深谷赤十字病院 精神科医師
1994年 4月 千葉大学大学院医学研究科入学
1998年 3月 同修了、学位取得
1998年 4月 千葉大学医学部附属病院精神神経科助手・講師を経て
2009年 1月 国保旭中央病院 神経精神科・地域精神医療推進部長
2011年 4月 千葉大学大学院医学研究科精神医学准教授
2013年10月 千葉大学社会精神保健教育研究センター特任教授
2016年 4月 特定医療法人学会木村病院院長

主な研究分野

精神科薬物療法、精神科多職種協働モデル、
周産期メンタルヘルス

主な学会・公務等

周産期メンタルヘルス学会理事
千葉県精神科リハビリテーション研究会 副会長
医薬品医療機器総合機構専門委員
精神科治療学誌編集委員

分科会 10月28日(金)9:30~11:30

第1分科会

コーディネーター

鈴鹿医療科学大学 医療福祉学科
学科長 教授 貴島 日出見

ひろげようアウトリーチ

～地域で暮らす本人と家族の思いに寄り添って～

話題提供者

- 倉田 隆明さん 鈴鹿厚生病院 精神科認定看護師
(児童・思春期領域) 地域支援室長 アウトリーチチーム
- 阪井 ひとみさん 阪井土地開発株式会社 代表取締役
NPO 法人 おかやま入居支援センター 理事
- 島 優子さん 社会福祉法人 愛恵会 相談支援事業所
こだま相談支援専門員障害福祉サービス事業所
(地域移行支援・地域定着支援事業所)

障害者権利条約には、『障がいのある人が、他の者との平等を基礎として、居住地及びどこで誰と生活するかを選択する機会を有すること、並びに特定の生活様式で生活するよう義務づけられないこと』がうたわれています。

そして、本人の希望や意思が尊重され、本人が望む生活が実現できるような支援が求められています。また、本人の思いを尊重しつつ、家族の思いにも寄り添う支援も必要です。このような支援を実践していただいている方々の発表により、地域での暮らしについてみんな考えてみましょう！

第2分科会

コーディネーター

全国精神保健福祉会連合会理事
日本福祉大学教授 青木 聖久

元気な家族会に！！

話題提供者

- 川辺 慶子さん 大阪府精神障害者家族会連合会理事
- 鈴木 恒夫さん 静岡県精神保健福祉会連合会会長
- 奥田 和男さん 奈良県精神障害者家族会連合会会長

近年、国内では精神疾患で医療機関にかかる人口がずっと増え続けています。本来なら家族会への入会者も増えるのが普通です。

家族会の組織はみんなねっとに再結集した後もずっと伸び悩んでいます。

分科会ではこの現実を率直に見つめながら、全国で生き生き活動して会員の拡大をしている家族会の経験を学び、それぞれの足元の家族会の活性化につなげようと考えています。昨年から取り組んだ「鉄道料金割引請願署名」活動や「家族による家族学習会」、そして、粘り強く続けられている「医療費無料化」の活動などの進んだ教訓を全国にもち帰っていただきたいとおもっています。またフロアとの意見交換の時間を確保しながら、皆さんの積極的提案を期待します。

分科会 10月28日(金)9:30~11:30

第3分科会

コーディネーター

三重大学 医学部精神看護学
教授 片岡 三佳

安心してらせる社会を目指して

～障害者差別解消法 これからの対話しよう～

話題提供者

- 脇田 愉司さん** (津市立三重短期大学 国立大学法人三重大学
教育学部 講師) 法・行政の視点
- 広野 ゆいさん** (NPO法人 発達障害をもつ大人の会) 当事者の視点
- 堀場 洋二さん** (名古屋市精神障害者家族会 カトレア会) 家族の視点

「私たち抜きで私たちのことを決めないで」のフレーズのもと制定された障害者権利条約、そして平成28年4月からは障害者差別解消法が施行されました。ただ実際のところ、精神の疾患や障害がある人を取り巻く現状は、どのようなものでしょうか。この分科会では、差別解消法を知ることからはじめ、「今をくらしている」中で、何を求め、何が課題なのか、そして何を感じているのかを多様な視点から掘り下げ、考えていきます。法律や制度が変化し続ける中、今をしっかりと受け止める。そして、その先・これからの生活を語り合いましょ。う。「私たち(当事者)が、安心してらせる」だけでなく「誰もが、安心してらせるため」にです

第4分科会

コーディネーター

聖隷クリストファー大学 社会福祉学部
准教授 大場 義貴

「はじめよう！若者への啓発を」

話題提供者

- 寺田 浩和さん** (伊賀市社会福祉協議会)
地域による取り組み ー伊賀圏域からの発信ー
- 宮越 裕治さん** (総合心療センターひなが/ささがわ通り 心・身クリニック)
ネットワークによる取り組みーYESnet からの発信ー
- 山本 綾子さん** (三重県立こころの医療センター)
医療による取り組み ーユース・メンタルサポートセンターMIE からの発信ー

本分科会では、「若者への啓発」を実践している様々な立場の方から、なぜ「若者への啓発」なのか、どんな「目的」なのか、実践を通した課題は何かといった報告をしていただきます。実践を通したわくわく感をお伝えしつつ、若者への啓発活動をさらに拡げていくためには、どうしたらいいかを考えます。皆様が若者への啓発を「はじめてみよう！」と思える時間にしたいと思います。ご参加お待ちしております。

分科会 10月28日(金)9:30~11:30

第5分科会

ゲスト

お笑い芸人
松本ハウスさん

ピアカフェ～みんなでしゃべろう～

ピアカフェは、当事者による当事者のためのワールドカフェ方式でのおしゃべりの場です。

ワールドカフェ方式とは、直訳すると「世界お茶方式」。参加者は世界を回るように、いくつかの参加テーブルを回って、いろいろな方とおしゃべりで仲間づくりをしましょう！

お茶、お菓子もあり、言っぱなし、聞きっぱなしのお気楽な集まりです。日頃思っていること、悩んでいること、人に聞いてもらいたいことなど気軽に話してみませんか。

今回は、スベグスさんとして、当事者であり、芸人として活躍されている松本ハウスさんにも参加していただきます。是非、ご参加下さい。

定員100名。家族の方、支援者の方の参加は、ご遠慮ください。

『ピアサミット』 10/28(金)13:30~15:30 三重県総合文化センター 中ホール

お笑い芸人 **松本ハウスさん 来たる!** (主催:ピアサポートみえ〈入場無料〉)

【お笑いピアサミット】

当事者企画・運営によるお笑いイベントです！

松本ハウスさん(サンミュージック)のお笑いライブ、演劇集団「劇団ダイコン一座」など、全国の当事者パフォーマーが、ステージで様々なパフォーマンスを披露していただきます。

入場無料！

当事者の方も、家族の方も、お笑いが好きな方も、本当は帰りたいけど仕方なく参加する方も… 是非ご参加ください。

全国の家族と家族会をつなぐ機関誌
&最新の精神保健医療福祉の情報誌

「月刊みんなねっと」 を知っていますか？



今知りたい精神障がいに関する情報が満載！
どなたにも読みやすくわかりやすく編集されています。
きっとお役に立つ一冊です。

こんな内容でお届けします・・・

- 知っておきたい精神保健福祉の動き
- 私と家族の手記
- 障害年金のこと
- 精神科医療の現状
- 街の診療所からのお便り 他

出版物のご紹介

① NEW 精神障がい者家族相談事例集



家族相談の活動は家族会の原点です。

家族が抱えるさまざまな問題を「日常生活、親亡き後、制度」など、7つの項目に分けてまとめました。

精神障がい者家族に特化した初の事例集です☆

好評発売中！！

※家族会からの注文は割引いたします。

② 精神障がい者と家族に役立つ 社会資源ハンドブック(改訂版)

これまで難しく分からなかった制度や社会資源のことがわかりやすくまとめられています。

改訂版となって新登場！



- ③ 統合失調症を正しく理解するために
- ④ うつ病を正しく理解するために
- ⑤ 家族会運営のてびき※
家族会の運営や活性化に役立つてびき書です。
- ⑥ 家族相談ハンドブック※
家族相談をおこなう家族会や支援機関などで多く活用されています。
※家族会からの注文は割引いたします。

●注文書●※お申し込み方法:ファックス、電話、ホームページ、郵送にて

月刊みんなねっと	年度単位は4月～3月です／2年目以降は自動継続となります <input type="checkbox"/> 個人賛助会員 ・(4月より入会)・・・年会費 3600円 ・(途中入会)・・・300円×3月までの月数		集めていただいた会費の一部が 団体様の財源になります♪	●氏名/団体名 フリガナ
	<input type="checkbox"/> 団体賛助会員 ()名 ※2名以上かつ団体(家族会、法人、施設、行政、企業、学校など)でお取りいただける方対象 ・(4月より入会)・・・年会費 3600円 ・(途中入会)・・・300円×3月までの月数			●住所 (〒 -)
書籍	<input type="checkbox"/> 特別賛助会員 5000円×()口			●電話/ファックス
	① (NEW)精神障がい者家族相談事例集・・・1080円 (家族会割引 1000円)※		冊	●備考(家族会名など)
	②精神障がい者と家族に役立つ社会資源ハンドブック改訂版・・・1400円		冊	
	③「統合失調症を正しく理解するために」・・・200円		冊	
	④「うつ病を正しく理解するために」・・・300円		冊	
	⑤家族会運営のてびき・・・800円 (家族会割引 600円)※		冊	
	⑥家族相談ハンドブック・・・700円(家族会割引 500円)※		冊	
合計金額(円)				